元気印

丸林 浩二さん 70
（滋賀県草津市）

子どもの環境学習支援

地域を流れて琵琶湖に注ぐ「葉山川」などで、小学生が地元の環境を学ぶ支援や環境保全の活動に取り組んでいます。

私が幼い頃は、湖にはたくさんの在来魚がいて、素潜りで固有種のセタシジミが何十個もとれました。今では見られない光景です。

「自然を大切にしなければいけない」と、2013年の退職を機に地元の環境保全団体「草津塾」に参加しました。昨年5月から代表を務め、河川清掃や水質調査などを行っています。

地元の小学生と一緒に池や川にいる生き物を調べ、川沿いの草原などで虫探しや草花集めなどもしています。種や実を見せて「鳥や風が運ぶんだ」「服にくっついて広がるのもあるよ」と説明すると、子どもたちは興味津々です。その表情や楽しそうに遊ぶ姿を見ると、やりがいを感じます。

環境問題はすぐには解決できません。でも、改善のため活動を続けることが大切です。子どもたちにも「できることを考えて」と話します。自然に親しむ体験の中で、何か一つでも心に残ればと思っています。

「わいず倶楽部事務局」〒530・8551　読売新聞大阪本社
電話06・6366・2338（土日祝除く10:00～17:00）
ファクス06・6366・2346　Eメールeditor@ysclub.jp

＊「わいず倶楽部」次回は10月4日に掲載予定です。